

Contents [主な話題]

- 東海村合同就職説明会・面接会を開催します！ … 2
- 9月9日(日)は救急の日 … 3
- こんにちは！ 村立東海病院です … 5



これからも分別にご協力を！

品質検査とは？

公益財団法人日本容器包装リサイクル協会のガイドラインに沿って、分別収集品の品質改善と情報共有化を目的に、年1回実施されている検査のことです。

検査方法は？

再生工場でペール(下記参照)をばらばらにし、手作業で一つずつ確認し不適正なものがどのくらい混入しているか調べます。

ランクとは？

- Aランク：再商品化に差し支えない
- Bランク：再商品化には若干問題を生じる可能性あり
- Cランク：再商品化に支障が生じる可能性あり

ご家庭から資源物として集められたペットボトルは、清掃センターや再生工場での加工を経て、最終的に軍手やTシャツ等生まれ変わります。その際、分別が不十分であると良質なリサイクルができません。今年度の検査の結果、村で集められたペットボトルは「Aランク」と高い評価を受けました。良質なリサイクルを行うため、引き続き正しい分別へのご理解・ご協力をお願いします。

正しい分別で

「ごみ」を「資源」に！

PETボトルが資源化されるまで

- ① キャップ・ラベルを外して、必ず水洗いをする。※キャップ・ラベルは容器包装プラスチック(資源物)に分類されます。

- ③ 清掃センターで「ペール」と呼ばれる塊に加工される。

- ⑤ フレークが各企業等に引き渡され、軍手・Tシャツ・卵パック・作業服などに生まれ変わる。

- ② 資源物収集日に資源物ステーションへ出す(ネット容器収集)。

- ④ ペールを再生工場に引き渡し、再生工場フレーク状に加工される。

